(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-304987

(43)公開日 平成5年(1993)11月19日

	8214-4B			
ADU T	9284-4C			
	7236-4B	C 1 2 N	5/00 E	3
	8931-4B		15/00	A
		審査請求 未請求	: 請求項の数29(全 20 頁)	最終頁に続く
- 原平4-162849		(71)出願人	000005968	
			三菱化成株式会社	
(22)出願日 平成4年(1992)6月22日			東京都千代田区丸の内二丁	1目5番2号
		(72)発明者	細川 斉子	
持顧平3-158859			神奈川県横浜市緑区鴨志田	町1000番地 三
73 (1991) 6 月28日	•		菱化成株式会社総合研究所	f内
日本 (JP)		(72)発明者	田川 俊明	
号 特顧平3-158860			神奈川県横浜市緑区鴨志田町1000番地 三	
23 (1991) 6 月28日			菱化成株式会社総合研究所	f内
日本 (JP)		(72)発明者	平川 容子	
- 原平3-158861		*	神奈川県横浜市緑区鴨志田	到1000番地 三
23 (1991) 6 月28日			菱化成株式会社総合研究所	f内
(33)優先権主張国 日本 (JP)		(74)代理人		1名)
				最終頁に続く
	原平4-162849 成4年(1992)6月 原平3-158859 3(1991)6月28日 本(JP) 原平3-158860 3(1991)6月28日 本(JP) 原平3-158861 3(1991)6月28日	7236-4B 8931-4B 顧平4-162849 成4年(1992)6月22日 顧平3-158859 3(1991)6月28日 本(JP) 顧平3-158860 3(1991)6月28日 本(JP) 顧平3-158861 3(1991)6月28日	7236-4B C12N 8931-4B 審査請求 未請求 原平4-162849 (71)出願人 成4年(1992) 6月22日 (72)発明者 原平3-158859 3 (1991) 6月28日 本 (JP) (72)発明者 原平3-158860 3 (1991) 6月28日 本 (JP) (72)発明者	7236-4B C12N 5/00 B 8931-4B 15/00 A 審査請求 未請求 請求項の数29(全 20 頁) 原平4-162849 (71)出願人 000005968 三菱化成株式会社東京都千代田区丸の内二丁(72)発明者 細川 斉子 神奈川県横浜市緑区鴨志田 菱化成株式会社総合研究所 (72)発明者 田川 俊明 原平3-158860 3 (1991) 6 月28日 本 (JP) (72)発明者 田川 俊明 神奈川県横浜市緑区鴨志田 菱化成株式会社総合研究所 (72)発明者 平川 容子 神奈川県横浜市緑区鴨志田 菱化成株式会社総合研究所 (73)発明者 平川 容子 神奈川県横浜市緑区鴨志田 菱化成株式会社総合研究所 (74)発明者 平川 容子 神奈川県横浜市緑区鴨志田 菱化成株式会社総合研究所 (75)発明者 平川 容子 神奈川県横浜市緑区鴨志田 菱化成株式会社総合研究所 (75) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (1

(54)【発明の名称】 ヒト型モノクローナル抗体およびそれをコードする遺伝子、ハイブリドーマ並びに抗腫病剤

(57)【要約】

【構成】 癌患者癌所属リンパ節由来リンパ球とマウス ミエローマ細胞との融合により得られるハイブリドーマ から、癌細胞の膜表面を認識する新規なヒト型モノクロ______

ーナル抗体を産生させる。該抗体をコードする c DNA をクローニングして、そのDNA配列およびそれより推 定されるアミノ酸配列を決定する。該抗体を腫瘍細胞に 対する毒素または制癌剤を内包するリポソームの表面に 担持することにより、抗腫瘍剤が得られる。

【効果】 本発明で得られたヒト型モノクローナル抗体 を用いることにより、癌組織に対する抗癌剤、毒素等の ターゲッティング治療が可能である。また、本発明の抗 腫瘍剤は、ヒト型モノクローナル抗体を含むので、癌組 織に特異的であり、連続投与が可能である。